

不在の観測

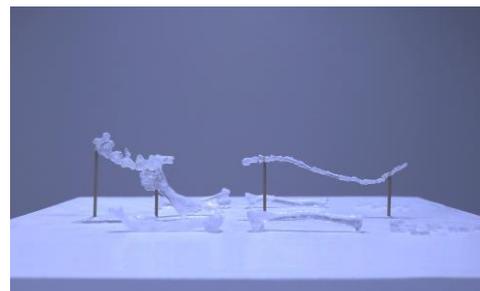
ab-sence/ac-ceptance



ミルク倉庫+ココナッツ《scratch tonguetable》
 展示風景 2019 撮影:森田兼次



三枝 愛《庭のほつれー木を立てる(岐阜)》
 2019



平野真美《変身物語 METAMORPHOSES #3
 Pâte de verre》2021

展覧会名	ab-sence/ac-ceptance 不在の観測
会場	岐阜県美術館 展示室2 (岐阜市宇佐4-1-22)
会期	令和3年9月23日(木・祝)～11月28日(日) 10:00～18:00 ※夜間開館日:10月15日(金)、11月19日(金)は20:00まで開館 ※展示室の入場は30分前まで ※休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)、11月4日(木)、5日(金) [11月1日(月)は臨時開館]
観覧料	一般 340(280)円 大学生 220(160)円 ()内は20名以上の団体料金 高校生以下無料 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、難病に関する医療費受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料 ※11月3日(水・祝)(岐阜～ふるさとを学ぶ日)は無料
出展作家	ミルク倉庫+ココナッツ、三枝 愛、平野真美
主催	岐阜県美術館

■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、予定を変更する場合があります。
 事前に岐阜県美術館 Web サイトでご確認ください。

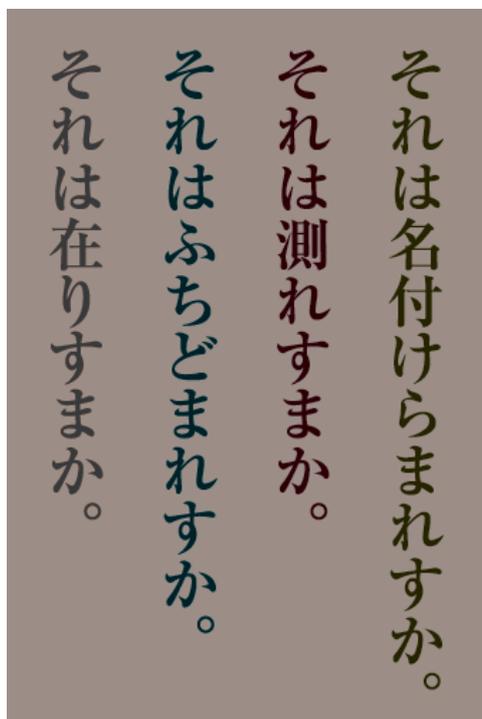
本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当:橋本 展覧会担当学芸員:鳥羽
 〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22
 TEL. 058-271-1314 FAX 058-271-1315

<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail: hashimoto-hironori@pref.gifu.lg.jp

不在の観測

ab-sence/ac-ceptance



本展覧会について

本展覧会は、〈不在〉を主だったトピックとしています。3組の作家は、姿をもたない存在や言語に回収されざる存在とのコネクトを試み、あるいは、認識の働きに潜む事象に目を凝らしています。作家はまた、岐阜県美術館の所蔵品に新たな解釈を付加し、別の時間軸に出現させていきます。

本展では、それらの行為や思考を重ね合わせることで、われわれが〈不在〉と考えているものの根拠、概念を問い直していきます。

岐阜県美術館コレクションからの出展作品

- ・ 荒木高子 《黒いページのある聖書》 1986 年
 - ・ 伊佐治勝太郎 《午睡》 1937 年
 - ・ 榎倉康二 《予兆－海・肉体 (P.W.-No.40)》 1972 年
 - ・ 野村 仁 《励起する真空》 1990 年
 - ・ 松尾芭蕉 《山かげや》 1688 年
- ほか [岐阜県美術館コレクションより]

作家紹介

ミルク倉庫+ココナッツ / mirukusouko (Milk Warehouse) + The Coconuts

2009年結成のミルク倉庫を前身とする7名のアーティストコレクティブ。東京都拠点。メンバーそれぞれが、建築系技術、電設技術、音楽、デザインなどの職能を有し、技術と芸術を線引きしない、中世のギルドのような実験性に富んだ制作が特徴。もの、道具、身体、技術、時間等の潜在的な機能や関係へ思考を重ね、独自の視点を作品として社会へ提示する。



ミルク倉庫+ココナッツ 《scratch tonguetable》 2
展示風景 2019 撮影:森田兼次

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| ■宮崎直孝 MIYAZAKI Naotaka (1974-) | ■松本直樹 MATSUMOTO Naoki (1982-) |
| ■坂川弘太 SAKAGAWA Ko-ta (1976-) | ■篠崎英介 SHINOZAKI Eisuke (1980-) |
| ■西浜琢磨 NISHIHAMA Takuma (1978-) | ■田中丸善一 TANAKAMARU Zenichi (1984-) |
| ■瀧口博昭 TAKIGUCHI Hiroaki (1974-2016) | |

作家ステイトメント

無は問題とはなりえない。……問題は、欠如、喪失、空虚、不在といった、それぞれまったく異なった性質のものさまざまなあり方を規定することである。* -J・ラカン

〈無い〉(≠無)を巡るあらゆる事象は、その対象の「失われ具合」とは裏腹に、私たちの眼前や心中に確かに〈有る〉。無いからこそ(渴求や焦がれを伴い)手応えを感じてしまうこれらの事象を、改めて推し測り、掴もうとする試み/またはその断章。

* 石田浩之 著『負のラカン』(誠信書房、1992年)より、1966年のボルティモアにおける国際討論でのジャック・ラカンによる発言の意訳。なお原文の英単語は省く。

- 2009年 「Fussa Stolen Base」、福生野球場、東京
- 2010年 「明滅する皮下組織 光のまち庄原ウインターイルミネーション 2010 関連企画」、庄原市役所・楽笑座・紅桃通り三軒茶屋、広島
- 2011年 「ミルク倉庫の出張台所」、路地と人、東京
- 2011年 「所沢ピエンナーレ「引込線」2011」、旧所沢市立第2学校給食センター、埼玉
- 2011年 「OPEN STUDIO 5 kodaira artists site」、ミルク倉庫アトリエ、東京
- 2012年 「アートプログラム青梅 存在を超えて」、青梅織物工業協同組合施設、東京
- 2013年 「囚人口 Chop Chop Logic」、HAGISO、東京
- 2015年 ミルク倉庫+ココナッツ 結成
- 2015年 「無条件修復 UNCONDITIONAL RESTORATION Pre-Exhibition」、milkyeast、東京
- 2015年 「ミルクイースト パブナイト——イン・タヴァン・エールハウス」、milkyeast、東京
- 2015年 「無条件修復 UNCONDITIONAL RESTORATION」、milkyeast、東京
- 2016年 「3331 Art Fair 2016」、アーツ千代田 3331 Gallery、東京
- 2016年 「Self-Reference Reflexology」、milkyeast、東京
- 2016年 「家計簿は火の車 3331 ART FAIR drecommended artists exhibition」、アーツ千代田 3331 Gallery、東京

- 2016年 「TRANS ARTS TOKYO 2016」、千代田区商店街など、東京
 2017年 「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」、岐阜県美術館、岐阜
 2017年 「Chewing Machine チューイングマシーン」、S.Y.P Art Space、東京
 2017年 「TRANS ARTS TOKYO 2017」、千代田区商店街など、東京
 2019年 「タイムライン 時間に触れるためのいくつかの方法」、京都大学総合博物館、京都
 2019年 「それらはしっかりと結ばれていて、さらに離れたキャビネットに閉じ込められています——それでも、物は動かされ、音楽は演奏されます。」、blanClass、神奈川
 2019年 「東京計画 2019 vol.4 | scratch tonguetable」、gallery αM、東京

三枝 愛 / MIEDA Ai

1991 年生まれ。埼玉県出身、京都府拠点。東日本大震災をきっかけにおきた庭の変化を起点に、ものを存続させることの意味を問いつつ、それにまつわる変化や状態に尊厳を見出し、さまざまな表現や行為に派生させる。近年は、文化財を扱う現場で用いられる技術を制作に反映させ、‘事象’を残す手立てを探っている。



三枝愛 《庭のほつれ》2019

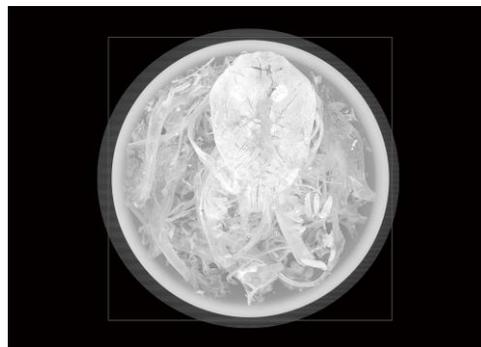
作家ステイトメント

同じ木なのに残されるものと捨てられるものがあるのはなぜか。「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」に際して制作された展示室=CUBE は、岐阜県加子母産の檜が用いられていたが、会期終了後、保存することはかなわなかった。人が忘れてたり、壊したり、なくなってしまうようなものや景色を留めおくために作品をつくってきたのに、それを見過ごしてしまったことがずっと頭の片隅にあった。岐阜県内でのレジデンスを経て、当時譲り受けた端材を拓本によって複製し、CUBE を実寸大で復元することを試みる。

- 2016年～ OPEN STUDIO GURA、京都
 2017年 「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」、岐阜県美術館、岐阜
 2017年 「群馬青年ビエンナーレ 2017」、群馬県立近代美術館、群馬
 2017年 「石が残っている / Will is left」、小金井アートスポットシャトー、東京
 2018年 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程 修了
 2018年 「アートプロジェクト高崎」、高崎シティギャラリー、群馬
 2018年 「A-Lab Artist Gate 2018 新鋭アーティスト発信プロジェクト」、あまらぶアートラボ、兵庫
 2020年 「群馬県ゆかりのアーティスト滞在制作事業」、アーツ前橋、群馬
 2020年 三枝愛 個展「木の日 - 樹節」、ホホ座浄土寺店 1階奥ギャラリー、京都
 2020年 「鮭 SAKE」、アキバタマビ 21、東京
 2021年 「沈黙のカテゴリー」、Creative Center OSAKA、大阪

平野真美 / HIRANO Mami

1989 年生まれ。岐阜県出身、岐阜県拠点。瀕死の愛犬や実在しない空想上の生物などを、骨格、臓器、血管、皮膚、毛、眼球など身体を構成するあらゆる部位を人工的に再現することで、蘇生・転生を探求している。不在と死、保存と制作、認知と存在に関する思索を深め、いかにそれらと向き合うのかを問いかける。



平野真美《変身物語 METAMORPHOSES #1 X-ray film》2021

作家ステイトメント

犬の遺骨が入った骨壺を、その蓋を開けることなく CT スキャンし、スキャンデータを元に遺骨の 3D データを作成、3D プリンタで出力する。出力した樹脂製の遺骨を原型として、古代のガラス铸造法であるパート・ド・ヴェールや陶による鑄込み成形などの技法を通し、姿形はそのままに様々な素材に変容させていく。

- 2014 年 東京藝術大学大学院 美術研究科修士課程 先端芸術表現専攻 修了
- 2014 年 「トーキョーワンダーフォーゲル公募 2014 入選作品展」東京都現代美術館、東京
- 2017 年 「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」、岐阜県美術館、岐阜
- 2018 年 平野真美個展「蘇生するユニコーン」、ギャラリーマルヒ、東京
- 2018 年 「アーティスト・イン・ミュージアム 平野真美 Meets 岐阜県立岐阜盲学校」、岐阜県立岐阜盲学校、岐阜
- 2018 年 「アーティスト・イン・ミュージアム 平野真美 Meets 岐阜県立岐阜盲学校」、岐阜県美術館、岐阜
- 2018 年 「2018 年のフランケンシュタイン バイオアートにみる芸術と科学と社会のいま」、EYE OF GYRE、東京
- 2019 年 「メディアコスモス新春美術館 2019」、みんなの森 ぎふメディアコスモス、岐阜
- 2019 年 「セカンド・フラッシュ」、岐阜県美術館、岐阜
- 2021 年 平野真美個展「変身物語 METAMORPHOSES」、アーツ千代田 3331 Gallery、東京

■ 開催期間中イベント

◆作家トーク

内 容：オープニング・クロストーク

日 時：令和3年9月23日（木・祝） 14：00～15：30

出 演：ミルク倉庫+ココナッツ、三枝 愛、平野真美

会 場：岐阜県美術館 展示室2

内 容：ミルク倉庫+ココナッツ×日比野克彦 クロストーク

日 時：令和3年11月3日（水・祝） 14：00～15：30

会 場：岐阜県美術館 多目的ホール、展示室2

内 容：レジデンス報告会

（美濃市、岐阜市、中津川市でのリサーチ・滞在制作をレポート）

日 時：令和3年11月6日（土） 14：00～15：30

出 演：三枝 愛

会 場：岐阜県美術館 多目的ホール

◆平野真美×ナンヤローネアートツアー

日 時：令和3年11月28日（日） 14：00～15：30

会 場：岐阜県美術館 展示室2

◆夜間開館ギャラリートーク

日 時：令和3年10月15日（金） 19：00～19：30

会 場：岐阜県美術館 展示室2

解 説：担当学芸員 鳥羽都子

※定員、参加料、事前申し込みの有無など詳細情報は、岐阜県美術館 Web サイトにてお知らせしていきます。（事前申し込みは岐阜県美術館 Web サイトより）

ご来館のみなさまへお願い

岐阜県美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全に配慮した取り組みを行なっています。

- ・発熱、咳などの風邪症状がある方、体調がすぐれない方はご来館をお控えください。
- ・入館にあたり、マスクの持参・着用、こまめな手洗い・消毒、来館者同士の距離の確保にご協力ください。

◎ 会期やイベントの最新情報は、岐阜県美術館 Web サイトをご覧ください。

(<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>)

岐阜県美術館

検索 

岐阜県美術館企画
「ab-sence/ac-ceptance 不在の観測」

広報画像貸出申込書

FAX 番号:058-271-1315



貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名：)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 (月号) / 発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

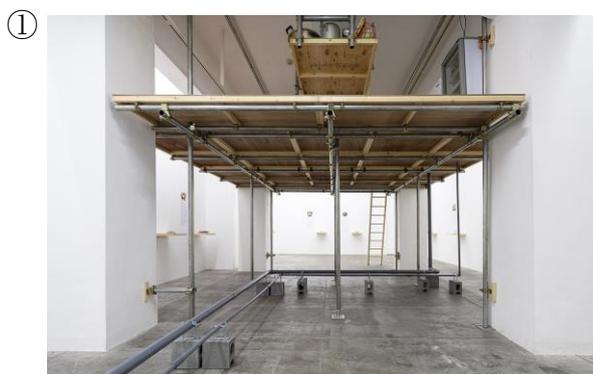
はい 画像データ到着希望日 (月 日) いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	ミルク倉庫+ココナッツ 《scratch tonguetable》 展示風景 2019 撮影:森田兼次
<input type="checkbox"/>	②	ミルク倉庫+ココナッツ 《scratch tonguetable》 展示風景 2019 撮影:森田兼次
<input type="checkbox"/>	③	三枝 愛 《庭のほつれ-木を立てる(岐阜)》 2019
<input type="checkbox"/>	④	三枝 愛 《庭のほつれ》 2019
<input type="checkbox"/>	⑤	平野真美 《変身物語 METAMORPHOSES #3 Pâte de verre》 2021
<input type="checkbox"/>	⑥	平野真美 《変身物語 METAMORPHOSES #1 X-ray film》 2021

■広報画像一覧



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・変更はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。